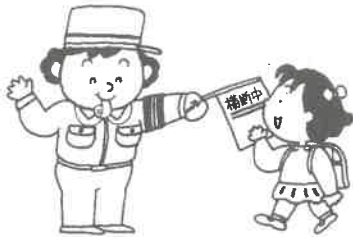


# センター通信

## 少年の健全育成活動について



伊丹警察署

署長 野口 岳志

伊丹警察署長の野口でございます。

皆様方には、平素から少年の健全育成活動にご尽力をいただくとともに、警察活動全般にわたり、大変なご理解とご協力を頂いておりますことに対して、心より厚くお礼を申し上げます。

さて、昨今の少年非行情勢をみますと、犯罪少年、不良行為少年のいずれも、統計的には年々減少傾向にあります。強盗などの凶悪犯罪、大麻所持等の薬物事犯が増加傾向にあり、決して予断を許さない状況にあります。

また、SNSを介しての児童買春・児童ポルノ事犯やいじめ、違法・有害サイト利用による犯罪被害など、インターネット利用に起因する犯罪被害やトラブルが後を絶ちません。

警察としましても、関係機関と連携した情報モラル教育、フィルタリングの利用促進、サイバーパトロール等の有害環境浄化活動を推進し、少年の被害防止に努めているところであります。

一方で、保護者による児童虐待件数は年々増加しており、児童虐待対策が喫緊の課題と言っても過言ではありません。

児童虐待は、家庭内で行われているものが大半であり、潜在化しやすく早期に発見することが極めて困難で、被害児童の身体、知的、情緒、心理・行動等の発達や対人関係の構築等に様々な影響を与え、心身に深刻な被害をもたらすものであり、児童虐待の早期発見、早期保護に努めていかなければなりません。

少年健全育成活動については、警察と行政、学校、地域などの関係機関・団体が一体となって取り組み、少年の非行・被害防止、児童虐待防止・早期発見保護の社会気運を高めていくことが重要と考えておりますので、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

近年、青少年を取り巻くインターネット利用環境が多様化する中、SNSに起因する事犯の被害児童生徒数は増加傾向にあるなど、子どもの被害は深刻な状況にあります。また、昨年来の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休校等により、子どもが自宅でインターネットを利用する時間が増え、犯罪やトラブルに巻き込まれる機会の増加も懸念されています。

内閣府は本年度の最重点課題を「ペアレンタルコントロール等によるインターネット利用に係る子どもへの犯罪被害等の防止」とし、このテーマの下、リモートパネルディスカッションを開催しています。副題は「ペアレンタルコントロールによるフィルタリング等の推進」、コーディネーターは兵庫県立大学環境人間学部准教授 竹内和雄氏です。その様子が月間中、内閣府のホームページに掲載されます。



詳しくは、内閣府ホームページをご覧ください。

居場所が多い子ほど、自分が好き

厚生労働省の基礎資料によると、児童生徒の自殺者数が令和元年度は339人、令和2年度は479人と大きく増加した。コロナ禍に伴う孤独・孤立が深刻な中、子どもたちの居場所（ほっとできる場所・居心地のよい場所）はどこにあるのであろうか。

令和3年度版 子ども・若者白書（内閣府）は、ほっとできる場所、居心地よい場所等が多い子どもほど自分が好きと分析している。また、居場所が多い子どもほど、悩み事や困ったことがあった時、困難な状況を改善した経験が多く、支援希望や支援機関の認知度等も高い傾向があったとも分析している。

調査対象となった子どものうち約半数が、これまでに困難経験があったと回答しており、困難な状況に直面すること事態は特別なことではない。そのような状態になった時に、その状況を改善していくことが重要であり、そのために家庭、学校、地域等が協力・連携し、社会全体で子どもの居場所づくりをしていく必要があるのではないのでしょうか。

第1回 愛護補導連絡会

6月10日（木）に、第1回愛護補導連絡会全体会を開催し、本年度の活動について協議しました。

この会は、少年補導委員、小学校のPTA愛護部と関係機関（主任児童委員、伊丹警察署、阪神北少年サポートセンター等）との連携を目的とし、「地域の子どもは地域が守り育てる」という観点に立ち、地域ぐるみの環境浄化や補導活動（「愛の一声」運動）を推進するための連絡会です。

全体会終了後、ブロック別に情報交換を行い、パトロールでの巡回重点箇所や留意事項等について確認しました。第2回は各校で9月～11月に各PTAで設定したテーマに沿って行う予定です。

地域の皆様のご協力をお願いいたします。

青少年を守る店連絡協議会 定期総会  
量販店部会研修会

6月22日（火）に、伊丹市青少年を守る店連絡協議会 定期総会、量販店部会研修会が開催されました。

研修会では、阪神北少年サポートセンター所長 上地 智也 氏に「現代少年との関わり方」を演題にご講演いただきました。

また、伊丹市立天王寺川中学校 半田 正樹教諭に「魅力ある学校づくり」をテーマに生徒指導担当としての取組を発表していただきました。



居場所となっていると回答した割合(%)

場 所	R元年度	R2年度
自分の部屋	89.0	85.3
家庭	79.9	75.6
学校	49.2	48.1
地域	58.5	53.3
インターネット空間	62.1	56.6
どこにもない	3.8	5.4

6月 (暫定値)	幼児 少学生	中学生	高校生 その他	大人
声かけ	718	28	48	149
あいさつ	1646	75	104	338
遊びに関する	16	0	18	0
感情に関する	3	0	0	0
交際に関する	0	0	6	3

相談活動(6月)

- ・電話 8件
- ・来所 6件
- ・メール 2件

有害図書回収状況(6月)

- ・有害図書 205冊
- ・有害AV 694個

子どもと保護者のためのなやみ相談窓口

- <電話相談> ☎ 072-770-8742  
月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く） 10:00～17:30
- <来所相談>（要予約） ☎ 072-780-3540  
月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く） 10:00～17:00
- <メール相談> aigo@itami.ed.jp  
または、当センターHPのメールフォームをご利用ください

6月の事案 (少年愛護センターへの通報・ひょうご防犯ネット情報)

日	時刻	場 所 (事案)	概 要
9	17:00	中野北 1 (声かけ)	信号待ちをしていた女子小学生らに、自転車に乗った男が女兒らの会話を盗み聞いて、名前を呼び「そのマスクええなあ」などと声をかけ立ち去った。
11	16:52	昆陽池 1 (つきまとい)	徒歩通行中男子小学生に、「わー」「おー」等と声をかけながらつきまとい、男児が走って逃げたところ、立ち去った。
18	18:30	船原 2 (声かけ)	徒歩通行中の女子中学生に、男が自転車で追い抜きざまに「かわいいね。バイバイ。」と声をかけ、女子学生が無視したところ、南方に立ち去った。
23	14:40	荻野西 2 (不審者)	徒歩通行中の男子小学生に、女が自動車内からいきなり大声を出し、そのまま南方向へ立ち去った。
25	18:20	鴻池 3 (暴行)	徒歩通行中の男子中学生に、自転車に乗った男がすれ違いざまに「お前邪魔なんじゃ」と言い、頭を叩くと走り去った。
30	17:30	山田 4 (不審者)	自転車で通行中の男子小学生に対して、後方からバットを所持した中学生くらいの男(1名)と女(2名)が追いかけた。

<7月の主な行事>

- 6(火) 伊丹市少年補導委員連合会 役員会
- 6(火) 伊丹市少年補導委員連合会 定例理事会
- 7(水) 県青少年補導委員連合会 会長・副会長会
- 12(月) 広報啓発活動
- 16(金) 第1回少年愛護センター運営協議会
- 21(水) 県青少年補導センター所長一日研修会
- 26(月) 有害図書回収
- 30(金) 宝塚市・伊丹市少年補導委員合同補導
- 中止 夏季全市一斉愛護パトロール

\*「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(☎ 072-780-3540)までお寄せください。